

第10回大空地区義務教育学校準備協議会議事要旨

日時 令和4年1月26日(水) 19:00～

場所 大空中学校 1階 アクティブラーニングスペース

1 開会

副会長 それでは、只今より、第10回「大空地区義務教育学校準備協議会」を開催させていただきます

開会に先立ちまして、本日の議題であります大空学園義務教育学校の教育課程について、村松会長が説明を行いますことから、本日の司会は副会長の川上が務めさせていただきます。

本日の協議会は現在委員18人中12名の委員がご出席いただいておりますので、協議会設置要綱第6条第2項より成立しておりますことをご報告いたします。

本日の議題ですが、お手元の会議次第のとおりを予定しております。次に、本日使用いたします資料について、確認させていただきます。

事務局 【事務局より配布資料について確認】

2 議題

(1) 第10回大空地区義務教育学校準備協議会の会議結果について

副会長 それでは、次第の議題に入ります。議題の(1)第10回大空地区義務教育学校準備協議会の会議結果についてを議題といたします。

前回の会議結果については【資料44】の議事要旨、【資料45】のニュースのとおりとなります。

ご質問やご意見はございませんか。

よろしいでしょうか。では、ご承認いただいたということで、議事録の公開、ニュースの配布をさせていただきます。ほかに意見などが無ければ、本議題について終了いたします。

(2) 大空学園義務教育学校の教育課程について

副会長 次に、議題の(2)大空学園義務教育学校の教育課程についてを議題といたします。本議題につきましては、村松会長から説明をお願いいたします。

会長 大空中学校校長の村松です。これから大空学園義務教育学校の教育課程、いわゆる教育の内容についてご説明いたします。

この会に先立ちまして、1月20日に大空小中学校の学校運営協議会を開きまして、教育課程、教育内容についてご承認をいただいたものをこの

後、報告させていただきます。

大空学園の教育内容を決めるにあたって、小中学校の保護者・PTAの方々、児童・生徒、先生方のアンケートを行い、学校・家庭という部分での声を拾って形にしているということを最初に申し上げておきます。

会長
副会長
委員

【会長より資料46に基づき説明】

只今の説明につきましてご質問やご意見はございませんか。

今見た感じだと新しいスタイルの学校になっていますよね。それを父母、地域みんなが共有することが非常に大事なことだと思います。そのうえでいろいろな活動が始まるのかなと考えています。今の段階で私が知る限りではほとんどの人は小学校と中学校が一緒になるんだな、知っている人でも小中一貫校になるんだよねという程度の認識です。どういう手法で知ってもらうのかが気になります。

会長

家庭・地域・教員みんなで共通理解を図ることが大切であると考えています。そこで若い世代の家庭向けにホームページなどの充実を考えています。また、デジタルではなく、学校だより等のプリントなどのポスティングも考えています。なお、スタートするにあたっては保護者の方に実際に集まっていただいております。コロナの影響により現時点で実施は難しいかもしれませんが、2月8日、9日に実施する予定で保護者の方々には周知したところですので。開催については市教委と相談しながら実施決定をしたいと考えています。こうして何度もやりとりをしながら共通理解を図っていききたいと思います。地域の方々への説明会についても2月16日に予定しています。

委員

凄く大事なことだと思います。コロナの影響で様々な会議が開催できない状況なので、なお危機感を感じています。ある程度はペーパーで仕方ないとは思いますが、地域に届ける努力をしてほしいと思います。

委員

特別支援学級について質問です。小中一貫校ということではほかの学校とは違う形になると思いますが、1年生から9年生まで区切りがない形なのか、また、情緒学級についてもお聞きしたいです。

会長

基本的に1年生から9年生までそれぞれの学年での指導を原則としつつ、人数や子どもの特性に合わせて一緒に学習したり離れたりとすることはあります。先生方についても、特別支援の先生はもちろんなんですが、通常学級の先生も一緒に、例えば教科専門の中学校の先生がそういうように入って指導するというようなことも想定しています。普通学級と特別支援学級が分かれるというようなイメージは持っていません。ですから、全員の先生で子どもたちを見るというコンセプトでいこうと考えて

います。これは情緒学級についても同じです。

委員

細かいところですが、5年生から全教科定期テストになるということですよ。算数に関しては5年生の子供たちにとっては大変かなという印象があります。

会長

今、中学校に該当する7、8、9年生は定期テストだけしかやっていないというわけではなく、単元テストを含めて長いスパンで見ると、短いスパンで見るとを合わせています。同じように、中間テスト期末テストだけで3、6年生の成績を評価するだけではなく、当然短いスパンの積み上げをしっかりと、なおかつ長い部分を記憶の定着を図る訓練をすることであえて書いています。単元テストの方はどちらかというと市販のものを使用しますが、長いスパンの方は先生方が教えた内容を子どもたちがどこまでできているかを確認するために先生方自作の定期テストを考えています。短いスパンと長いスパン合わせるという意味での定期テストの実施ということになります。

委員

通学路の関係なんですが、中学校の東側の通りについて通学路にしておいた方がよいのではないのでしょうか。通学路になっていないのは何か意図があるのでしょうか。歩道もありますし、問題があるようには思えないのですが。

会長

積雪によって狭くなることや、思った以上に朝の通勤時の往来が多いということであえて外しています。まだ確定ではありません。

委員

現状通っている子がいるところなので、今後通学路ではなくなった場合、通っている場合には注意しなければならなくなるので、再度検討をお願いしたいと思います。

委員

南の森コミセンから10号に出る通学路は現状西側が指定されていますが、吹雪の影響が非常に大きいので、むしろ東側を指定した方が影響が少ないと考えられるので、検討をお願いします。

副会長

よろしいでしょうか。それでは、最後に事務局からお願いします。

事務局

【事務局より連絡事項等説明】

副会長

予定していた議題はすべて終了しました。以上を持ちまして本日の大空地区義務教育学校準備協議会は閉会します。皆様お疲れ様でした。